

## 目次

### 特集

中国プラスチックフィルム製造産業 2014年度統計値

### 1. 業界動向、統計数字

- (1) 2016年、紙類包装業は前例のないコスト高に見舞われる
- (2) 顆粒包装機が高度化
- (3) 全人代代表李建華、廃紙利用に政策的支援を訴える
- (4) 包装印刷インク需要増大、環境保護インクの開発が急務
- (5) 3Dプリンター建築技術産業園、内蒙古包頭市に建設
- (6) 福建泉州市、2020年までに紙業総産値700億元に
- (7) 紙包装および書籍印刷用高速インクジェット印刷機の動向
- (8) 自由貿易区の物流効率向上で貿易利便化を推進
- (9) 軟包装市場の動向
- (10) 中国紙箱包装需要、2013-2016年に7%の成長を予測
- (11) 高等職業学校生のレベル低下とその対策
- (12) 奥瑞金と中粮包装戦略提携
- (13) 注射薬剤用ガラス容器の品質不良、改善遅々として進まず

### 2. 政策・法規

- (1) 国家郵政局、「中国快遞領域綠色包装発展現状および趨勢報告」正式発布

### 3. 新製品、新材料

- (1) 中国科学院合肥物質科学研究院、新型フィルム材料を開発
- (2) キヤノン、新型大画面プリンターを近日発売

### 4. 環境・安全・リサイクル

- (1) アップル製品の包装材回収率は100%を目指す。

### 5. 物流

- (1) 中国-欧州鉄道中部ルートの輸送貨物総価値は3億ドルを超える

- (2) 中国の EC 企業、海外倉庫建設で海外物流体制を構築
- (3) 中国の流通コスト、先進国の 2 倍
- (4) ウルムチとデュイスブルグ港を結ぶ定期貨物列車 今年上半期に開通へ
- (5) 商務部、2020 年までに電商物流体系を基本的に完成させる

## 6. 中国トピックス

- (1) 2月の PMI は 49.0
- (2) 2月の輸出入は 15.7% 減少、7 年ぶり最大の下げ幅
- (3) 2月の物価、2.3% 上昇
- (4) 中国の高速鉄道、運行距離が世界の 60% 以上を占める
- (5) 中国初の「慈善法」9 月 1 日施行
- (6) 広東省、2016 年最低賃金引き上げ見送り
- (7) 中国化粧品市場世界 2 位に、地場メーカーが攻勢
- (8) 中国一流大学トップ 100 ランキング発表
- (9) 定年引上げ、回答者の 91% が反対
- (10) 中国人が日本で漢方薬を爆買い 全人代代表「中国医薬業界は猛省すべき」
- (11) 中国で違反ワクチン大量に流通

---

### 特集

#### 中国プラスチックフィルム製造産業 2014 年度統計値

中国包装連合会は 2007 年から諸統計の公表を止めていたが、昨年春、傘下の諸団体に中国統計局の基準に従って 2014 年度および 2015 年度上半期の統計値を収集するように指示を出していた。2014 年度分から統計値の公表が再開されるのではないかと期待していたところ、「中国包装 3 月号」に中国包装連合会統計部記述の「中国塑料薄膜制造行業年度運行報告（2014 年度）」が掲載された。ひさしぶりに中国包装連合会が公表する公式統計値を紹介する。

### 概要

2014 年度、中国プラスチックフィルム製造業規模以上企業（年間主営業収入 2000 万元以上の工業法人企業）は 1538 社で、昨年より 49 社増加した。累計完成主営業収入は 2579.51 億元で昨年比 6.81% 増加、増加率は昨年同期比 7.5 ポイント低下した。累計完成利潤総額は 129.95 億元で昨年比 7.30% 増加、増加率は昨年同期比 2.74 ポイント低下した。

輸出入に関しては、全国プラスチック板、スライス片、フィルム、箔、紐および平紐産業の累計完成輸出入は 214.43 億米ドルで昨年比 7.24% 増加、そのうち輸出額は 98.63 億米ドルで増加率は 15.88%。輸入額は 115.80 億米ドルで増加率は 0.83% であった。

## 1. 全国プラスチックフィルム製造業製品生産量状況分析

### 1) 年間生産量

2014年1~12月の全国プラスチックフィルム累計生産量は1,261.77万トンで、昨年比8.43%増加した。

### 2) 地区別分布

産量のトップ5は浙江省、広東省、江蘇省、山東省、河南省の順である。

地区	生産量（万トン）	前年比増加率（%）	占有率（%）
浙江省	360.24	+3.8	28.55
広東省	158.42	+0.8	12.56
江蘇省	121.33	+6.78	9.62
山東省	97.66	+7.23	7.74
河南省	77.26	+15.87	6.12
四川省			4.96
福建省			4.87
遼寧省			4.5
上海市			3.44
天津市			2.51
その他			15.13

## 2. 全国プラスチックフィルム製造業主要業務収入状況分析

### 1) 年間業務収入

2014年1~12月の累計完成業務収入は2579.51億元で、昨年比6.81%増加した。

### 2) 地区別業務収入分布

業務収入トップ5は、広東省、浙江省、山東省、江蘇省、福建省の順であった。

地区	業務収入（億元）	増加率（%）	占有率（%）
広東省	524.59	+4.9	20.34
浙江省	519.79	-3.54	20.15
山東省	236.28	+7.93	9.16
江蘇省	206.04	+6.26	7.99
福建省	145.2	+10.94	5.63
河南省	4.72		

遼寧省	4.11
上海市	4.08
四川省	3.48
安徽省	3.47
その他	16.88

### 3) 会社登録類型分布

全国企業累計業務収入 2,579.51 億元のうち、

内資企業	: 1875.34 億元	増加率 10.21%	占有率 72.7%
香港、マカオ、台湾企業	: 453.09 億元	増加率 1.44%	占有率 17.56%
外商投資企業	: 251.09 億元	減少率 5.9%	占有率 9.73%

### 4) 企業規模分析

全国企業累計業務収入 2,579.51 億元のうち、

小型企業 : 1671.95 億元	増加率 7.48%	占有率 64.82%
中型企業 : 633.05 億元	増加率 6.16%	占有率 24.54%
大型企業 : 274.52 億元	増加率 4.29%	占有率 10.64%

## 3. 全国プラスチックフィルム製造業利潤状況分析

### 1) 全国企業年間累計利潤総額

2014 年 1 月～12 月の累積完成利潤は 129.95 億元で昨年比 7.30% 増加した。

### 2) 利潤総額地区別分布

利潤総額地区別トップ 5 は、広東省、浙江省、山東省、河南省、江蘇省であった。

地区	利潤（億元）	増加率（%）	占有率(%)
広東省	25.9	+20.6	19.98
浙江省	21.57	+2.24	16.6
山東省	15.72	+7.51	12.1
河南省	10.97	+23.3	8.44
江蘇省	8.4	-4.75	6.47
安徽省			6.09
福建省			5.49
遼寧省			3.74
四川省			3.45

河北省	3.29
その他	14.41

### 3) 企業登録類型分析

全国製造業完成累計利潤総額 129.95 億元のうち、

内資企業	: 101.93 億元	増加率 6.2%	占有率 78.44%
香港、マカオ、台湾投資企業	: 17.09 億元	増加率 32.5%	占有率 8.41%
外商投資企業	: 10.93 億元	減少率 10.63%	占有率 8.41%

### 4) 企業規模分析

全国製造業完成累計利潤総額 129.95 億元のうち、

小型企業 : 69.9 億元	増加率 3.56%	占有率 53.79%
中型企業 : 41.6 億元	増加率 3.47%	占有率 32.02%
大型企業 : 18.44 億元	増加率 37.66%	占有率 14.19%

## 4. 全国プラスチックフィルム製造業輸出高状況分析

### 1) 全国プラスチックフィルム製造業累計完成輸出高

2014 年 1~12 月の累計輸出高は 260.51 億元で前年比 1.67% の増加であった。

### 2) 地域別輸出量分布

輸出高トップ 5 は、広東省、浙江省、江蘇省、山東省、上海市の順であった。

地域	輸出高（億元）	増加率（%）	占有率（%）
広東省	86.15	-0.9	33.07
浙江省	80.81	+8.99	31.02
江蘇省	29.32	-3.61	11.25
山東省	26.21	+4.87	10.06
上海市	15.7	-0.22	6.03
福建省			3.44
天津市			1.57
河北省			1.19
安徽省			0.89
北京市			0.44
その他			1.04

### 3) 企業登録類型分析

2014年1~12月の累計輸出高は260.51億元のうち、

内資企業	: 126.18 億元	減少率 0.7%	占有率 48.43%
香港、マカオ、台湾投資企業	: 85.72 億元	増加率 5.43%	占有率 32.9%
外商投資企業	: 48.62 億元	増加率 1.54%	占有率 18.66%

#### 4) 企業規模分析

2014年1~12月の累計輸出高は260.51億元のうち

小型企業 : 121.08 億元	増加率 3.94%	占有率 46.48%
中型企業 : 93.96 億元	増加率 4.1%	占有率 36.07%
大型企業 : 45.47 億元	減少率 8.14%	占有率 17.45%

### 5. 全国プラスチック板、スライス片、フィルム、箔、紐および平紐産業輸出状況分析

#### 1) 全国プラスチック板、スライス片、フィルム、箔、紐、平紐産業の輸出量

2014年1~12月の全国プラスチック板、スライス片、フィルム、箔、紐、平紐産業の輸出量は98.63億米ドルで増加率は15.88%であった。

#### 2) 輸出貿易国別分布

輸出先トップ5は中国香港、米国、日本、ベトナム、インドであった。

輸出先	金額（億米ドル）	増加率（%）	占有率（%）
中国香港	9.86	+22.1	9.99
米国	8.02	+10.05	8.13
日本	4.9	-6.91	4.97
ベトナム	4.51	+26.63	4.57
インド	4.28	+23.93	4.34
ロシア			3.9
インドネシア			3.79
マレーシア			3.6
台湾			3.36
韓国			3.27
その他			50.08

#### 3) 輸出貿易方式分析

全国プラスチック板、スライス片、フィルム、箔、紐、平紐産業の輸出量は98.63億米ドルのうち、

一般貿易	: 58.21 億米ドル	増加率 22.79%	占有率 59.02%
進料加工貿易	: 29.79	3.46%	30.2
その他	: 3.64	55.46	3.69
保税区倉庫転廠貨物	: 2.04	14.14	2.07
国境少額貿易	: 2.03	4.79	2.05
来料加工装配貿易	: 1.73	1.75	1.75
保税倉庫輸出貨物	: 0.92	17.74	0.93
国家間、国際組織無償援助	: 0.01	58.84	0.01

#### 4) 輸出企業立地分析

輸出企業立地トップ5は、広東省、浙江省、江蘇省、上海市、山東省であった。

輸出企業立地	輸出額（億米ドル）	増加率（%）	占有率（%）
広東省	37.6	+19.27	38.13
浙江省	17.33	+8.61	17.57
江蘇省	16.96	+16.9	17.2
上海市	9.7	+14.7	9.84
山東省	4.94	+16.93	5.01
福建省			2.12
遼寧省			1.44
天津市			1.39
河北省			1.37
安徽省			1.03
その他			4.91

### 6. 全国プラスチックフィルム製造業輸入状況分析

#### 1) 全国プラスチックフィルム製造業輸入状況

2014年1~12月の全国プラスチック板、スライス片、フィルム、箔、紐、平紐産業の累計完成輸入額は115.80億米ドルで、増加率は0.83%であった。

#### 2) 輸入貿易国分布状況

輸入先国トップ5は、日本、韓国、台湾、米国、中華人民共和国であった。。

輸入先国立地	輸入額（億米ドル）	増加率（%）	占有率（%）
日本	35.2	-0.03	30.5
韓国	21.8	-0.01	18.9
台湾	13.8	-0.01	12.0
米国	10.2	-0.01	8.8
中華人民共和国	8.8	-0.01	7.6

日本	35.26	+6.22	30.45
韓国	25.66	-6.6	22.16
台湾	15.45	-5.02	13.34
米国	12.32	+3.27	10.64
中華人民共和国	5.03	-12.43	4.84
ドイツ			4.32
ベルギー			2.79
イタリア			1.55
シンガポール			1.50
オーストリア			1.21
その他			7.71

### 3) 輸入方式分布

全国プラスチック板、スライス片、フィルム、箔、紐、平紐産業の輸入量、115.80億米ドルのうち、

一般貿易	: 51.26 億米ドル	増加率 11.01%	占有率 44.27%
進料加工貿易	: 45.77	-6.67	39.52
来料加工装配貿易	: 5.09	-13.79	4.39
保税区倉庫転廠貨物	: 2.32	-5.73	2.01
その他	: 0.67	-2.19	0.58
輸出加工区輸入設備	: 0.16	-14.74	0.14

### 4) 輸入地区分析

輸入企業立地トップ5は、広東省、江蘇省、上海市、浙江省、天津市であった。

輸入企業立地	金額（億米ドル）	増加率	占有率（%）
広東省	35.97	-2.08	31.07
江蘇省	29.36	+9.89	25.35
上海市	18.11	+0.43	15.64
浙江省	6.92	+2.81	5.98
天津市	6.81	-7.06	5.88
山東省			4.31
福建省			3.78
北京市			1.83
遼寧省			1.31

河北省	0.76
その他	4.09

(出典：中国包装 3月号　中国包装联合会統計部)

## 1. 業界動向、統計数字

### (1) 2016年、紙類包装業は前例のないコスト高に見舞われる

2015年10月15日、東莞玖龍、広東理文、東莞建暉などは一斉に包装紙をトンあたり50元値上げしたが、12月に入って東莞玖龍、金洲、銀洲は再度トンあたり50元の値上げを発表した。1月13日、東莞建暉は白底および灰底板紙を50元値上げした。このように紙および板紙は数次にわたる値上げが実施されている。値上げの理由は多々あるが、環境対策費の上昇、人件費の上昇、大量の中小製紙会社の停産、製紙会社の利益率減少を背景に大手製紙会社が自助手段をとったものと思われる。

中国国家統計局が2月18日に発表した中国工業生産者出庫価格（PPI）は前月比0.5%、前年同期比5.3%低下しており、製紙会社の値上げにかかわらず紙類包装品の販売価格は低下している。

海関統計によれば、2016年1月の輸出入総額は1兆88億元で前年同期比9.8%減、そのうち輸出は6.6%減、輸入は14.4%減である。このように中国経済が低迷している中で包装印刷産業も収縮しており、紙類包装製品の動きも鈍く原紙価格の上昇を製品に転嫁できるような状況にはない。春節後の受注状況も芳しくないが、原紙在庫も比較的多いので、包装印刷業界は製紙業界の価格動向を注意深く伺っている。

（中国包装網 2月29日）

### (2) 顆粒包装機が高度化

人件費の上昇が薬品、食品包装業界でも大きな問題となっている。顆粒包装機器とは食品、薬品、肥料等顆粒状物質を包装する機器であるが、顆粒包装機器業界でも高度自動化、多機能化研究が盛んである。高機能電子制御技術、高速全自動包装に耐える不銹鋼の選択、高速ヒートシール技術、自動印刷技術等新技術が盛り込まれている。　（中国包装網 3月3日）

### (3) 全人代代表李建華、廃紙利用に政策的支援を訴える

全人代代表で山東華泰集団総裁の李建華董事長は大会記者団に対して、廃紙の利用は生態環境を守る役割があり一層の利用と廃紙に対する増税返還等の政策的支援を訴えたことを明らかにした。現在、中国の廃紙原料は全製紙パルプ消費量の65%を占めており、廃紙利用量は世界の3分の1を占めている。中国の新聞紙、包装板紙の生産技術は向上し、現在これらには100%廃止パルプが利用出来るようになっていいる。（中国包装網 3月8日）

#### (4) 包装印刷インク需要増大、環境保護インクの開発が急務

包装産業の継続的な伸長により包装用印刷インクの需要は堅調な伸びを示している。しかし、印刷インクの環境や健康への影響の問題は依然として解決されていない。中国の印刷インク企業規模は小さく、ひとつの企業の市場占有率は小さい。このため個々の企業が行う研究開発投資は少額で抜本的な技術開発がなされないのが現状である。また、インク業界は技術人材が不足している。国内で生産されているインクの環境安全性は不十分である。また、インクの移行による食品汚染も頻発している。インク中に含まれる溶剤による作業環境汚染も大きな問題になっている。先進国では石油系有機溶剤の使用を規制し、大豆油や水性インク、UV 硬化インクが使用されている。中国ではまだ有機溶剤を使用するインクが大部分を占めている。環保、無汚染、人体無害なインクの開発が急務である。(中国包装網 3月 11 日)

#### (5) 3Dプリンター建築技術産業園、内蒙包頭市に建設

内蒙包頭市青山区政府は孟創建築科技（上海）有限公司と合作協定に署名し、青山区に中国北方地区で最初の3Dプリンター建築技術産業園を建設すると発表した。総投資額は20億元、2期に分けて建設し、一期では10ラインの3Dプリンターグループラインを造り、二期では研究開発センター、設備製造センター、インク製造センター、体験センターを建設する。(中国包装網 3月 14 日)

#### (6) 福建泉州市、2020年までに紙業総产值700億元に

泉州市政府は13日、2020年までに製紙および紙製品産業工業総产值が700億元、年平均増長率は11%になると発表した。また、この成長率のもとでエネルギー使用量および汚染物排出量を10%減少させる。統計によれば2014年の泉州市の紙業総产值は398.50億元で福建省の総产值の43.7%を占めている。(中国包装網 3月 14 日)

#### (7) 紙包装および書籍印刷用高速インクジェット印刷機の動向

2014年末時点の統計によれば、世界の高速インクジェット印刷機の販売額は前年度比22%増加し、印刷量は35%以上増加した。高速インクジェット印刷機が出現してから8年あまり、世界で約800社が高速インクジェット印刷機を導入しているが、その印刷量は全印刷量の1%に満たない。このことは、高速インクジェットプリンタープリントはまだ導入の初期であり、今後大きな発展空間があることを意味している。

高速インクジェットプリンタの応用範囲は広いが、中国においては書籍印刷が主要用途になるであろう。高速インクジェット印刷機が普及するためには、現状の小企業が分散して印刷している状況から印刷業務が集約化されるような政策的支持が必要であろう。(中国包装網 3月 14 日)

#### (8) 自由貿易区の物流効率向上で貿易利便化を推進

政治協商会議全国委員会委員で國務院発展研究センター对外經濟研究部元部長の張小済氏は貿易の利便化を推進する手段としては、自由貿易区の物流効率のさらなる向上などが考えられる。「例えば出入境検査・検疫では、リスクを抑えると同時に、通関もしやすくするような手段の実施を考慮することができる。運輸や保管サービスの分野では、国外の進んだ管理モデルを適切に取り入れ、国内外の資源を統合し、物流全体のコンセプトの下でそれぞれのポイントの効率をさらに高めることが考えられる。サービス業の開放水準の向上ももちろん、貿易の利便化に好条件を作り出すものとなる」と提案した。廣東自由貿易試験区は昨年4月21日に正式に発足した。廣州南沙と深セン前海、珠海横琴の3大エリアからなり、それぞれ重点のある機能と位置付けを持っている。(中国網3月15日)

#### (9) 軟包装市場の動向

中国は軟包装消費大国で、2015年の中国市場消費量は607万トンに達した。アジアは世界最大の消費区域で、全世界消費の40%を占めている。2015年～2020年において軟包装消費量は年平均6.6%の伸びを示すと予想されている。特にインドと中国の伸びが著しく印度は9.4%、中国は6.9%の伸びと予想される。なお、軟包装の75%は食品包装用である。(中国包装網3月15日)

#### (10) 中国紙箱包装需要、2013～2016年に7%の成長を予測

紙箱包装は近年、順調な成長を遂げ、2015年度の紙箱包装工業総産値は1兆5千億元に達したと見込まれる。2016年には1兆9千億元を突破するだろう。国際紙箱包装協会の予測によれば2013～2016年の全世界の紙箱包装の成長率は4%程度とみられるが、新興市場の南米は3%、東南アジアは7%、東欧、中欧は4%と予測され、中国は7%とされている。(中国包装 2016年3月号)

#### (11) 高等職業学校生のレベル低下とその対策

甘肃工業職業技術学院の朱長江氏は「中国包装1月号」で、全国的な高等職業学校(日本の高等専門学校に相当)の学生のレベル低下とその対策について論じている。高等職業学校の入学試験(高考)は750点満点であるが、全国の入学生の最低点は200点前後であった。甘肃工業職業技術学院の2014年度の高考の300点以下の受験生比率は31.61%、360点以下(正答率50%以下)の比率は68.39%であった。

受験生の質の低下は継続的に現れている。また、入学した生徒の学力向上が見られないのも問題だ。甘肃工業職業技術学院の期末テストの不合格率は極めて高い。

1年生の第一学期不合格率 54% 第二学期不合格率 56.25%

2年生の第一学期不合格率48%、第二学期56%、第三学期58%、第四学期61%となっている。

この対策としては、中学校高等部の教育レベルを上げると共に、入学後の教育体系に配慮する必要がある。高等職業学校は理論と実学を教育するところであるが、教師陣に工業的実務経験の少ない人が多く、学生に理論と実際の作業の関連を分かり易く教育することが出来ていない。学生に技術の面白さを感じさせる教育が必要である。(中国包装1月号)

#### (1 2) 奥瑞金と中粮包装戦略提携

3月7日、奥瑞金股份有限公司と中粮集團有限公司傘下の中粮包装控股有限公司は戦略提携協議に署名した。両社は資本提携を前提に広範囲な協力関係を構築し、研究開発の分野でも提携する。(中国包装連合会網3月7日)

#### (1 3) 注射薬剤用ガラス容器の品質不良、改善遅々として進まず

安徽省食薬監督局が3月に公表した数字によると、27件の不合格产品が認められ、異物混入等「中国薬典」規定に違反していた。今回の検査だけでなく、医薬用ガラス容器の不正品が多い。注射用ガラス瓶には強制標準が無く、低質製品が出回る素地がある。(中国包装網3月24日)

## 2. 政策・法規

#### (1) 国家郵政局、「中国快遞領域緑色包装発展現状および趨勢報告」正式発布

1月、国家郵政局新聞宣伝センターおよび北京印刷学院青島研究院、印刷および包装工程学院が共同で提案した「中国快遞領域緑色包装発展現状および趨勢報告」が正式に発布された。報告は市場競争環境の現状、快遞包装の環境保護に対する現状、回収・再利用の困難さの現状について述べ、その解決への取り組み方向を示している。

①包装減量化 ②快遞業従事者全般の環保意識の向上 ③包装材回収方法（快遞配達員の79.69%は回収作業に協力すると述べている） ④過剰包装減少の新技術開発。

(中国包装1月号)

## 3. 新製品、新材料

#### (1) 中国科学院合肥物質科学研究院、新型フィルム材料を開発

合肥物質科学研究院は水中のストロンチウムやセシウムを分離除去することができるナノ多孔性多機能柔性薄膜材料の合成に成功した。この研究成果は近く、「科学報告」誌上で発表される。(中国塑料加工協会網3月14日)

## (2) キヤノン、新型大画面プリンターを近日発売

キヤノンは新型大画面プリンター2機種を近日発売すると発表した。この新型プリンターはimage Prograf Pro系列に属するものである。Pro-2000とPro-4000には12色のLucia顔料系統が用いられている。それぞれ24インチと44インチの画像をプリントすることが出来る。(中国包装網3月18日)

## 4. 環境・安全・リサイクル

### (1) アップル製品の包装材回収率は100%を目指す。

アップルは2016年iPhone SEの発表会で、iPhoneの包装材回収率は99%であると述べた。アップル全製品の世界での包装材回収率は92%で、米国ではほぼ100%を達成している。アップルの目標は世界での100%回収にある。(中国包装網3月22日)

## 5. 物流

### (1) 中国－欧州鉄道中部ルートの輸送貨物総価値は3億ドルを超える

中国モンゴルの最大陸路の出入国検問所、二連浩特を経由する中国-欧州鉄道中部ルートは2013年から初の中国欧州列車の運行をスタートして以来、同ルートを通過する中国欧州列車が100本に達した。出入国輸送貨物の総価値は3億ドルを超え、中国と欧州の貿易と往来を絶えず活発化している。(新華網3月4日)

### (2) 中国のEC企業、海外倉庫建設で海外物流体制を構築

クロスボーダー電子商取引(EC)を拡大し、輸出企業を支援し、輸出製品の「海外倉庫」を建設し、対外貿易総合サービス企業の発展を促進する——。2016年の「政府活動報告」で、「海外倉庫」の建設を対外貿易モデルの革新的発展の目玉とすることが提起された。中国のクロスボーダーECは現在、勢いよく発展しており、取引額は増え続けている。2015年5月に商務部が『インターネット+流通』行動計画を打ち出して以来、今や多くのECプラットフォームや輸出企業が海外倉庫の建設を通じて海外物流体制を構築している。(人民網3月7日)

### (3) 中国の流通コスト、先進国の2倍

第12期全国人民代表大会第4回会議に出席した中国商務部の高虎城部長はインタビューに応じた際に、次のように述べた。

中国の流通コストは比較的高く、先進国の約2倍となっている。消費のコスト削減に力を入れ、経済成長に対する消費のけん引力を強化する必要がある。

中国の流通コストが製品コストに占める比率は、数年前まで20%だったが、現在は15-16%となっている。先進国は8%だ。中国はこの面から、多くの取り組みを進めることができる。都市間の共同配送、農産物輸送、冷凍システムなどのインフラ整

備の強化を重視する。(中国網 3月 14日)

(4) ウルムチとデュイスブルグ港を結ぶ定期貨物列車 今年上半期に開通へ

国レベルの経済技術開発区である新疆ウイグル自治区ウルムチ経済技術開発区(頭屯河区)はこのほど、世界最大の内陸港、ドイツのデュイスブルク港と正式に協力関係を結んだ。双方は資本金2億元の新疆国際陸港控股有限責任公司を設立し、新疆国際陸港を企業として運営する。(新華網 3月 22日)

(5) 商務部、2020年までに電商物流体系を基本的に完成させる

商務部等関連6部門は23日、「全国電子商務物流発展専項規画(2016—2020年)」を発布、2020年までに情報化、標準化、集約化の図られた効率的な電商物流体系を基本的に完成させるとした。(中国物流と購買連合会 3月 23日)

## 6. 中国トピックス

(1) 2月のPMIは49.0

中国物流・調達連合会、国家統計局サービス業調査センターは1日、今年2月の製造業購買担当者指数(PMI)を前月比0.4ポイント低下の49.0と発表した。

國務院発展研究センターの張立群研究員は、「2月にはPMI指数が持続的に低下し、当面の経済成長にはなお下ぶれ圧力がかかり、経済は今なお底にあって安定を求める過程にあることがわかる」と話す。(人民網 3月 2日)

(2) 2月の輸出入は15.7%減少、7年ぶり最大の下げ幅

税関総省は8日、今年2月の輸出入データを発表した。輸出は前年同月比20.6%減少し、約7年ぶりに単月の減少幅の最大を更新し、市場の予想よりも減少した。アナリストは、「1~2月のデータに回復の兆しがみられず、今年の中国対外貿易は新たな変数に直面することになる」と話す。今年2月の輸出入額は1兆4300億元で同15.7%減少した。うち輸出は8218億元で前年同月比20.6%減少し、約7年ぶりに単月で最大の下げ幅を記録した。輸入は6123億元で同8%減少した。輸出から輸入を差し引いた貿易収支は2095億元の黒字で、黒字額は同43.3%減少した。

(人民網 3月 9日)

(3) 2月の物価、2.3%上昇

国家統計局は10日、2月の消費者物価指数(CPI)が前年同月比2.3%上昇したと発表した。春節や寒気の影響で食品が値上がりし、CPI全体を押し上げた。卸売物価指数は前年同月比4.9%下落した。48カ月連続で前年水準を下回った。

(人民網 3月 11日)

#### (4) 中国の高速鉄道、運行距離が世界の 60%以上を占める

國務院の李克強総理は今年の政府活動報告で、中国の鉄道運行総距離が 12 万 1 千キロに達し、中でも高速鉄道は 1 万 9 千キロを超え、世界の 60%以上を占めたことを明らかにした。政府活動報告では、2020 年までに中国の高速鉄道運行総距離を 3 万キロに伸ばし、大都市の 80%以上をカバーする目標が提起された。人民日報が伝えた。

一方、中国の高速鉄道の「海外進出」も加速しており、国家発展改革委員会の徐紹史委員長によれば、すでに建設が始まった海外プロジェクトには、インドネシアのジャカルタ-バンドン間高速鉄道、中国-ラオス鉄道、中国-タイ鉄道、ハンガリー-セルビア鉄道などが含まれるほか、現地測量が始まったプロジェクトもいくつかあるという。中国鉄路総公司によると、現在ロシアのモスクワ-カザン高速鉄道、米国西部の高速鉄道などのプロジェクトが推進されている。(人民網 3 月 13 日)

#### (5) 中国初の「慈善法」9 月 1 日施行

全人代第 4 回会議において、「中華人民共和国慈善法」が可決・成立した。習近平国家主席が主席令に署名、「慈善法」は 2016 年 9 月 1 日から施行される。草案によると、今後、資格を持たない個人は公開募金活動を行うことが許されなくなる。では、国民が困難に見舞われた場合は、どのようにして合法的に募金を集めればよいのだろうか？そのような場合は、公開募金活動を行う資格を持つ慈善団体と提携し、慈善団体が公開募金活動を行う形にすれば問題ない。(中国網 3 月 19 日)

#### (6) 広東省、2016 年最低賃金引き上げ見送り

広東省（深圳市を除く）は今春、最低賃金の引き上げを見送る方向で調整に入った。景気減速で企業収益は伸び悩み、賃金の急上昇は得策でないと判断したようだ。広州市は 2015 年に 14 年比 22.3% 引き上げられ月額 1895 元となっていた。広東省全体の平均でも 19% 上昇していた。(日経 3 月 8 日)

#### (7) 中国化粧品市場世界 2 位に、地場メーカーが攻勢

国家統計局はこのほど、社会消費財小売データを発表した。データによると、2015 年の国内化粧品小売額は前年比 8.8% 増の 2049 億元に達し、同期の 6.9% の経済成長率を上回った。中国は米国に次ぐ、世界 2 位の化粧品市場になった。これまでの外国ブランドの独占と比べ、中国化粧品市場では無視できない「中国の力」が台頭しようとしている。

“百雀羚”が 1 億 8000 万元で音楽番組「中国好声音」の独占スポンサーになり、“上海家化”がアリババと戦略的提携関係を結び、“自然堂”が人気女優の姚晨をイ

メージキャラクターに採用した。地場メーカーは近年積極的に事業展開し、国産品が再び消費者から注目されるようになった。化粧品業界のアナリストは、「2015年の中国化粧品市場の成長において、大衆化粧品の国際ブランドによる寄与は限定的だった。地場メーカーは長期的な蓄積により、販売チャネル、マーケティング、PRなどの面で国際ブランドと正面から競争できるようになった。これは大きな変化、転換点だ」と指摘した。(中国網 2月29日)

#### (8) 中国一流大学トップ100 ランキング発表

武漢大学中国科学評価研究センター(RCCSE)、中国教育品質評価センター、中国科学教育評価網がこのほど、「2016年中国大学・専門学科評価・コンサルティング報告(以下、評価報告と略)」を共同で発表した。RCCSEが中国の大学・専門学科を対象とした評価結果を発表するのは、今回が13回目となった。

中国国务院は昨年、「世界一流大学・一流学科建設の統一的推進のための全体案」を発表した。これを受けて、同報告は、世界一流大学の特色・基準および中国大学教育の実情にもとづき、新たな「中国一流大学ランキング」を出した。評価報告によると、ランキング上位5大学は順に、北京大学、清华大学、浙江大学、上海交通大学、武漢大学。(人民網 3月3日)

#### (9) 定年引上げ、回答者の91%が反対

中国人力资源・社会保障部の尹蔚民部長は、「定年退職年齢引き上げ案をすでに作成している。関連手続きに基づき報告し、批准を受けた後に公開し、社会から意見を求める。今年中に案を発表できるはずだ」と述べた。この情報を受けて、人々は「定年引き上げが現実化する」とため息をついている。

中国青年報社会調査センターはポータルサイトの搜狐と協力し、アンケート調査を行った(有効回答数は16万9063人)。回答者の90.3%は、定年引き上げに関する情報に注目していると回答した。今回の調査結果によると、1960・70年代生まれの人が、定年引き上げに最も強く関心を示している。回答者の91.1%は、定年引き上げに反対した。81.5%は、定年引き上げは全体的に見ると、政府機関・事業単位の職員に有利だと判断した。多くの人は、若者の雇用機会が減ることを懸念している。回答者の88.1%は、定年引き上げにより若者の就職の圧力が拡大することを懸念した。(中国網 3月4日)

#### (10) 中国人が日本で漢方薬を爆買い 全人代代表「中国医薬業界は猛省すべき」

多くの中国人が外国に行き、「外国製漢方薬」つまり外国の製薬会社が中国から輸入した漢方薬を用い製造した「漢方製剤」を買い占める事態が生じている。全国人

民代表大会（全人代）代表で吉林敖東药业集團株式有限公司の李秀林董事長は「理解に苦しむ」と言い切り、「中国の製薬会社は 6~7 千社もあるのに、国内ニーズを満足させることができず、中国人観光客が日本まで行って目薬や風邪薬を買っている。これは深く反省する必要がある」と語った。李董事長は「供給側改革は生産能力が過剰な企業にのみ適用されるのではなく、一般の製造業にも適用される。製薬会社を例に挙げれば、『職人の精神』を備える必要があり、医薬、特に中国医薬を極め、供給側のミドル・ハイエンド市場のシェアを占め、中国の一般市民のますます高まるハイエンドなニーズを満足させるべきだ」と指摘した。（人民網 3月 8日）

（筆者注：最近、上海の友人から頼まれるのは、「龍角散ダイレクト」「液体ムヒベー  
ビー」「サカムケア」「各種目薬（いろいろ指定がある）」など。以前の電気釜や電  
気ポットより軽くなって運ぶのが楽になりました）

#### （11）中国で違反ワクチン大量に流通

中国で保存状態などに問題がある、インフルエンザや狂犬病、A型肝炎など計 25 種類のワクチンが 2010 年から大量にインターネットで違法販売され、病院などで使用されていたことが 23 日までに判明した。子ども用のワクチンも多く含まれており、公表遅れへの怒りや社会不安が広がっている。当局は大きな被害は発生していないとしているが実態は不明。新華社電などによると、計 24 の省・自治区・直轄市で約 200 万本が販売され、取引額は計 5 億 7 千万元（約 98 億円）に上っていた。李克強首相は「ワクチン管理に漏れがあった」と認め、流通ルートなどの徹底調査を指示した。最高人民検察院（最高検）も捜査に乗り出し、既に販売に関わったとみられる一部を拘束、さらに約 300 人の行方を追っている。中国では安全性に問題がある食品や医薬品が流通する事件が頻発する。今回の事件をめぐって、地元メディアは「殺人行為だ」と非難する専門家の声を紹介。ネットでは「どの病院で使われていたのか詳しく公表しろ」と情報公開を求める声が高まっている。（日経 3月 24 日）

以上